

国立大学法人福岡教育大学学長の業績評価結果について

令和 8 年 1 月 2 8 日
国立大学法人福岡教育大学
学長選考・監察会議

国立大学法人福岡教育大学学長選考・監察会議（以下、「本会議」という。）は、「国立大学法人福岡教育大学学長選考等規程」第 13 条及び「国立大学法人福岡教育大学学長の業績評価に関する細則」第 5 条並びに「国立大学法人福岡教育大学学長の業績評価の実施に関する申合せ」に基づき、下記のとおり、国立大学法人福岡教育大学学長の業績評価を実施し、その結果を公表します。

記

1 学長氏名 飯田 慎 司

2 令和 6, 7 年度の業績評価

(1) 評価対象期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

(2) 評価結果 概ね良好な成果を収めたと評価する。

〔総評〕 福岡教育大学は、令和 6 年度においても、教員就職者数・教員就職率ともに、全国トップクラスの成果を上げている。近年、教員不足が深刻化しており教育現場における大きな課題になっているなか、福岡教育大学の卒業生・修了生の多くが教職に就いていることは、飯田慎司学長のリーダーシップの下、「九州の教員養成の拠点的作用を担う」というミッションの達成に向け、大学を挙げて真摯に取り組んできたことの証しである。

令和 5 年度から導入した学修者本位の学位プログラムを新カリキュラム学生の履修状況のモニタリング結果に基づき令和 7 年度から再編したり、各種アンケートを通じ、本学での学修成果を測るとともに教育課程、施設設備、学生支援、学生受入の状況を把握し、諸課題の改善及び教育の質の向上を図るなど養成段階の改善・改革だけでなく、教員研修支援事業の充実や教職の魅力発信等に尽力していること等、評価に値する取組を継続することができている。

また、教育現場をフィールドとした「臨床的研究」を通じて、高度な教員養成を担うことのできる大学教員や教員研修の専門家を養成するために、「福岡教育大学」「北海道教育大学」「大阪教育大学」の 3 大学が共同して博士課程の設置に向け取り組んできたが、令和 7 年 4 月に共同学校教育学専攻の設置が認められている。

さらに、福岡県・宗像市・福岡教育大学の三者連携による宗像特別支援学校（仮称）の新設に向けた取組をこれまで続けてきたが、令和 7 年 1 月 1 日福岡県条例により「福岡県立むなかた特別支援学校」が正式に設置され、令和 8 年 4 月開校予定である。

今後、本学が特別支援教育の拠点となり得るかについては、今後の経過を注視する必要があるが、これらの成果は、飯田慎司学長が、これまで国、教育委員会や連携協力校等と円滑な関係を構築し、幅広い視野を持って教育研究及び社会連携事業を推進してきた証左である。

以上をふまえ、本会議は、飯田慎司学長の令和 6, 7 年度の業績について、概ね良好な成果を収めたと評価する。

3 令和 2～7 年度の業績評価

(1) 評価対象期間 令和 2 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

(2) 評価結果 概ね良好な成果を収めたと評価する。

〔総評〕 飯田慎司学長は就任当初から着実な業務の執行及び後継者育成等に取り組んでおり、令和 2 年度から令和 5 年度の業績評価及び令和 6, 7 年度の業績評価を踏まえ、学長在任中の業績として、概ね良好な成果を収めたと評価する。

〔参考〕 これまで学長選考・監察会議（令和3年度までは学長選考会議）で実施した飯田慎司学長の各年度の業績評価は次のとおりである。

- ・令和2年4月1日～令和3年3月31日：概ね良好な成果を収めたと評価する。
- ・令和3年4月1日～令和4年3月31日：概ね良好な成果を収めたと評価する。
- ・令和4年4月1日～令和5年3月31日：概ね良好な成果を収めたと評価する。
- ・中間評価 令和2年4月1日～令和5年3月31日：
任期前半の業務の状況は概ね良好である。任期後半においても、引き続き着実な業務の執行及び後継者育成等、持続的な経営力の強化を期待する。
- ・令和5年4月1日～令和6年3月31日：概ね良好な成果を収めたと評価する。

〔その他の意見〕

- ・3地区に設置されている附属学校は、地域にとって大変貴重な存在であり、更なる充実に向けて支援をいただきたい。

4 確認事項 以下の内容毎に、業務執行の状況について確認した。

（1）中長期的なビジョンを持ち、必要な取り組みを企画・立案し、確実に実行しているか。

運営組織等の改革、意見聴取会の開催、中期目標・中期計画に関する進捗管理、事業行動計画（アクションプラン）の策定、大学教員の計画的採用及び昇任、事務系職員の独自採用試験の実施、人事院勧告を考慮した給与制度の改定、キャンパスマスタープラン2023に基づく取組、教育総合研究所におけるプロジェクトの企画・実施、連携・協力に関する協定締結、附属幼稚園における預かり保育の実施、附属小中学校におけるスクールカウンセラーや各種支援員の配置、未来型ICT環境設備の導入、附属小学校教頭の専任化等の取組について確認した。

（2）教員養成系単科大学として、九州で唯一広域拠点大学に選定されている特色を生かし、国、教育委員会や連携協力校等と円滑な関係を構築し、幅広い視野を持って教育研究及び社会連携事業を推進しているか。

九州教員研修支援ネットワークの事業推進、福岡県内教員研修支援事業の取組、小中学生のための教師体験、小中学生及び高校生に向けた教師の魅力発信事業、海外協定校の拡充及び国際交流の充実、教育総合研究所における研究プロジェクトの企画実施、連携・協力に関する協定締結、附属学校における研究・研修、授業づくりセミナー等の取組について確認した。

（3）本学の教育研究成果及び地域貢献について広く社会に発信しているか。

学生等アンケートの実施と結果の公表等の取組について確認した。

（4）地方創生に繋がる取り組みを推進しているか。

むなかたキャンパスネットワーク協議会の交流事業による宗像市、同市内高等学校・大学との連携等の取組について確認した。

（5）教育研究力の向上に資するため、必要に応じて業績評価を見直しているか。

大学教員活動評価の実施等の取組について確認した。

（6）新たな国立大学法人の評価、資源配分の抜本的改革に対応するとともに、大学経営力を強化し、必要な改革を推進しているか。

資源配分の抜本的改革への対応、財務施設戦略企画室を中心にした予算獲得に向けた取組等について確認した。

（7）学生が教員として夢と希望を持ち社会に羽ばたくことのできる魅力ある大学づくりを目指し、全国トップクラスの教員養成系大学としてブランドを構築しているか。

3大学共同博士課程の設置、教員採用試験に向けた支援等の取組について確認した。

（8）時代の変化に即応した新しい教職員の人事評価制度を再構築しているか。

人事評価制度の見直し、大学教員の年俸制への移行状況等の取組について確認した。

5 質疑応答 学長との質疑応答で以下の事項を確認した。

【項目 1】 国際交流の充実について、どう対応しているのか。

長期留学、短期留学の状況について確認した。

【項目 1】 ダイバーシティの状況を伺いたい。女性研究者の養成プログラムについてどのようにお考えか。

ダイバーシティ推進部会の状況、管理職への女性の登用、育児休業の取得状況について確認した。

【項目 2】 附属学校における研究について、詳細を教えてください。

附属学校における研究発表、公立学校教員に対する研修等の取組について確認した。

【項目 3】 学生、卒業生、就職先等からのアンケートを取りまとめ、データ化し、PDCA（改善）に繋げていっていると思われる。具体的な対応を教えてください。

学生アンケートへの対応、ステークホルダーへの情報提供、学生からの要望等への対応について確認した。

【令和 2～7 年度の業績評価】 学長在任中の重要な取組、政策があれば教えてください。また、達成出来なかった事項があれば理由も含めて教えてください。

(1) 学長の在任中の重要な取組・政策

- ・教職教育院の扱い
- ・博士後期課程の設置
- ・特別支援教育の充実

(2) 学長在任中に達成出来なかった取組・政策

- ・福岡県が福岡県立むなかた特別支援学校を特別支援教育の拠点としていこうとしているなか、今後、本学が特別支援教育の拠点になり得るのか最後まで見届けることは出来なかった。
- ・福岡県立むなかた特別支援学校の造成時に池を埋め立て、間もなく駐車場として活用できる見込みであるが、それに伴い大駐車場の敷地を有効活用しようとしていたが概算要求までは至らなかった。

6 経過

- ・令和 7 年 6 月 1 9 日 学長選考・監察会議（第 1 回）開催
学長業績評価のスケジュール及び業績評価の実施について審議
- ・令和 7 年 1 2 月 2 3 日 学長選考・監察会議（第 7 回）開催
学長によるプレゼンテーションの実施・質疑応答、学長の業績評価に関する審議
- ・令和 8 年 1 月 2 8 日 学長選考・監察会議（第 8 回）開催
学長の業績評価に関する審議